

『お探し物は図書室まで』 青山 美智子／著 ポプラ社 (分類:Fア)

悩める人々が立ち寄った小さな図書室。不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押ししてくれて…。明日への活力が満ちてくる、書き下ろしハートウォーミング小説。



『鼠、十手を預かる』 赤川 次郎／著 KADOKAWA (分類:Fア)

次郎吉、目明しに転身!? うっかり十手を預かったばかりに、迷子捜しに夫婦喧嘩の仲裁と、慣れない御役目に大忙し…。大泥棒・鼠小僧次郎吉が江戸を駆け巡る! 「鼠」シリーズ第12弾。『小説野性時代』掲載を単行本化。



『犬がいた季節』 伊吹 有喜／著 双葉社 (分類:イ)

ある日、高校に迷い込んだ子犬。生徒と学校生活を送ってゆくなかで、その瞳に映ったものとは…。昭和から平成、そして令和へ。いつの時代も変わらぬ青春のきらめきや切なさを描く。『小説推理』掲載を改題し加筆修正。



『アクティベーター』 冲方 丁／著 集英社 (分類:Fウ)

羽田空港に突如、中国のステルス爆撃機が飛来した。女性パイロットは告げる。「積んでいるのは核兵器だ」と。これはテロか、宣戦布告か。展開予測不能の国際サスペンス。『小説すばる』連載を加筆・修正。



『擬傷の鳥はつかまらない』 荻堂 颯／著 新潮社 (分類:Fオ)

顧客に偽りの身分を与える「アリバイ会社」を生業とするサチを2人の少女が訪ねてきた。数日後、片方の少女がビルの屋上から身を投げた。サチは残された少女を「門」の向こう側へと“逃がす”よう迫られ…。



『水葬』

鏑木 蓮／著 徳間書店 (分類: Fカ)

限界集落をテーマにしたフォトエッセイを連載していた婚約者・光一が失踪した。自宅のPCに転送された写真を手がかりに、彼の足取りを追う希美は、光一の元交際相手の優子も失踪していることを知り…。書下ろしサスペンス。



『国道食堂 2nd season』

小路 幸也／著 徳間書店 (分類: Fシ)

田舎にあるけれど、何を食べても美味しい食堂〈ルート 517〉。そこは、お店の中にプロレスのリングがある。そこで結婚式を挙げることに!? ちょっと変わった店に通う人々の様々なドラマを描く。『読楽』掲載を書籍化。



『十年後の恋』

辻 仁成／著 集英社 (分類: Fツ)

パリで暮らすシングルマザーのマリエ。小さな投資グループを主宰するアンリ。運命的なふたりの出会いは、新型コロナウイルスに翻弄され…。新しい世界の永遠の恋心を描いた長編小説。『すばる』掲載を加筆し書籍化。



『刑事の枷』

堂場 瞬一／著 KADOKAWA (分類: Fド)

交番勤務から川崎中央署刑事課に異動した若手警察官・村上は、署内で疎まれるベテラン刑事・影山に強引に連れ回される。10年前の殺人事件を独自に捜査する影山と行動を共にする村上は、やがて未解決事件の解明に惹かれて…。



『小説秋月鶴山』

童門 冬二／著 PHP 研究所 (分類: Fド)

「下意上達」の組織作り、世界初の児童手当、理想の藩校の設立…。上杉鷹山が尊敬し続けた兄で、何よりも「人」を大事にした名君、高鍋藩7代藩主・秋月鶴山(種茂)の生涯を描く歴史小説。



『ヘルメースの審判』

榆 周平／著 KADOKAWA (分類:Fニ)

家電製品の発火による死亡事故で、経営体質を非難された世界的電気機器メーカー・ニシハマ。創業家一族に婿入りした梶原賢太は、ニシハマが窮地を脱するための極秘計画に携わることになる…。『小説 野性時代』連載を加筆・修正。



『自転しながら公転する』

山本 文緒／著 新潮社 (分類:Fヤ)

東京で働いていた 32 歳の都は、親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始めるが…。結婚、仕事、親の介護、ぐるぐる思い惑いながら幸せを求める姿を描く。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。



『ハマスイのゆかいなきもの』

桂浜水族館／監修 実業之日本社 (分類:K480 ハ)

高知市の桂浜水族館「ハマスイ」の公式 BOOK。コツメカワウソの赤ちゃん、トド、アシカ、ペンギン、カピバラ、カメや、個性的な飼育員たちを紹介するほか、オリジナルグッズ、グルメ、高知旅行プランなども掲載。



『今日も言い訳しながら生きてます』

ハ・ワン／文・イラスト ダイヤモンド社 (分類:159 ハ)

適度な言い訳は人生をおいしくしてくれる味の素みたいなものだ。つまり言い訳とは、悩み多き現実社会で、心折れずに生かしてくれる最後の砦なのだ-。“心地よい生き方”が見つかる人生エッセイ。



『ただばたらき』

嬉野 雅道／著 KADOKAWA (分類:699 ウ)

「ぼくは書いてますよ」と 3 年半言い続けたうれしーが、やっと全篇書き上げました! 「水曜どうでしょう」のカメラ担当ディレクター・嬉野雅道のエッセイ 3 部作、ついに完結。



新しく入った 児童図書・YA (2/14) 予約受付いたします！

『会いたくて会いたくて』

室井 滋／作 長谷川 義史／絵 小学館 (分類:Eハ)

ひまわりホームにいるおばあちゃん。ママからは「ホームへしばらく行っちゃダメ!」と止められたけど、ケイちゃんはおばあちゃんに会いに行き…。大切な人を想う気持ちを、柔らかであたたかい色彩で描き出す。

(小学校低学年～)



『うさぎのモニカのケーキ屋さん』

小手鞠 るい／さく 講談社 (分類:913 コ)

森の中の「モニカのケーキ屋さん」。うさぎの姉弟がつくるケーキをめあてに、お店のテーブルはお客さまでいっぱい。と、そのとき、くまのおじいさんがお店へ入ってきて…。かわいいさし絵満載の、1年生がひとりで読める童話。

(小学校低学年～)



『三毛猫ホームズの幽霊退治』

赤川 次郎／著 汐文社 (分類:913 ア)

古びた屋敷に招待された、片山義太郎刑事と妹の晴美、そして名探偵猫の三毛猫ホームズ。その屋敷は、幽霊屋敷なのだという。真夜中、待ち構えていた片山たちの前に現れたのは…。表題作ほか全3話を収録。

(小学校高学年～)



『学校、行かなきゃいけないの?』

雨宮 処凛／著 河出書房新社 (分類:371 ア)

学校に行かなくても、選択肢は意外にたくさんある。フリースクール、学習支援、心の専門家…。学校から遠ざかった人々、学校のあり方に疑問を持って独自の取り組みを始めた人々にインタビューし、多くの選択肢と実践を紹介。

